

週間情報

No. **0817**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 「週間情報」の投稿方法変更のお知らせ（専用投稿フォーム開設のご案内）
[全国消防長会](#)
- ◆ 機関誌「ほのお」記事募集
[一般財団法人全国消防協会](#)
- ◆ 第108回全国消防長会財政委員会を開催
[全国消防長会財政委員会](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 宮城県東部消防指令センター開所式を実施
[石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）](#)
- ◆ 日勤救急隊の発隊式を挙行
[岡崎市消防本部（愛知）](#)
- ◆ 新庁舎の竣工式を挙行
[西置賜行政組合消防本部（山形）](#)

▽訓 練

- ◆ 「緊急消防援助隊栃木県南東ブロック後方支援訓練」を実施
[石橋地区消防組合消防本部（栃木）](#)

▽研 修

- ◆ 「F O H（フラッシュオーバーハウス）」研修を開催
[阿久根地区消防組合消防本部（鹿児島）](#)

▽その他

- ◆ 消防功労者に対し消防長感謝状を贈呈
[湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（秋田）](#)
- ◆ 「特別消防救助隊（S R T）」の運用を開始
[豊田市消防本部（愛知）](#)
- ◆ 救急ステーションの運用を開始
[京都中部広域消防組合消防本部（京都）](#)
- ◆ 田川地区・中間市消防指令センターの共同運用を開始
[田川地区消防本部（福岡）](#)
- ◆ 熱中症対策サプリメントを披露
[奈良県広域消防組合消防本部（奈良）](#)

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 消防用設備等の非常電源として用いる自家発電設備の出力算定について（通知）
[\(消防予第159号、令和8年4月16日\)](#)
[目次に戻る](#)

- ◆ サウナ施設に係る衛生主管部局と連携した安全対策の徹底について
(消防予第164号、令和8年4月21日)
- ◆ 消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）
(事務連絡、令和8年4月20日)

▽報道発表

- ◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和8年度研究開発課題の募集
(令和8年4月15日、消防庁)


▽情報提供

- ◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催
タイトル「巨大地震や火山噴火に伴う複合災害に備えて」
主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会
後援：全国消防長会

※ お知らせ

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら 

X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

両会の動き

◆ 「週間情報」の投稿方法変更のお知らせ（専用投稿フォーム開設のご案内）

全国消防長会

「週間情報」では、投稿に係る事務の効率化を図るため、Microsoft Formsを活用した「専用投稿フォーム」の本運用を開始いたします。

これまで個別にご案内していた投稿フォームを、今後は投稿の標準窓口とさせていただきます。つきましては、今後の投稿は以下のリンクまたは二次元コードよりお手続きをお願いいたします。

なお、写真の送付方法などについてもフォーム内に記載しております。

今後も、円滑な情報収集と誌面作成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【専用投稿フォーム】

[URL] <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>


[QRコード]



◆ 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防災思想の普及広報を積極的に推進するため、社会経済の発展に即応した幅広い知識・技術及び消防業務全般にわたる資料を提供し、それにより全国消防職員の資質の向上と会員相互の情報交換、さらには融和協調に寄与することを本旨として、毎月、機関誌「ほのお」を発行しております。ついては、次のとおり投稿記事を募集しています。

タイトル	投稿要領等 
① トップ・セカンド記事	<ul style="list-style-type: none"> 全国の消防本部に知っていただきたい事業や新たな取り組み、消防行政に役立つこと等についての記事を募集しています。 例： <ol style="list-style-type: none"> 災害現場での活動概要、特殊災害への対応、関係機関との連携、地震・豪雨・林野火災への対応 など 救急活動の改善・事例研究、医療機関との連携、救急隊の労務管理、救急需要対策の取り組み など スマホ・タブレット活用、VR訓練・映像共有等DXによる効率化 など 予防広報・啓発、違反是正、火災調査体制、法務対応 など SNSによる広報活動、イベント、企業とのコラボ企画、市民向け啓発活動 など 人材育成、女性活躍、ハラスメント対策、組織改革 など 新庁舎等の整備、消防車両・消防装備等の開発、技術革新の紹介 など 全国の消防職員に伝えたい取り組み等ございましたら、メールアドレス kikakeikaku@fcj.gr.jp までご連絡ください。投稿したい記事の概要のみで構いませんのでお気軽にお問い合わせください。 詳しい執筆要領は、問い合わせいただいた際に改めてお伝えいたします。 ご不明な点や相談事項がございましたら、全国消防長会 企画部企画課 吉田（03-4500-6622）までご連絡ください。
② 消防ワイド	<ul style="list-style-type: none"> 100文字程度のWord原稿及びJPEG画像データ（写真掲載は1枚となります。）を、担当者あてに送信願います。写真のデータはWordやExcelに貼り付けずに、JPEGデータで送付してください。 多数のご投稿をいただいております、掲載できない場合もございます。 ※注意事項 <ul style="list-style-type: none"> 消防ワイドは、写真中心のビジュアルな情報伝達に重点を置いています。速報性を求める場合や文章により伝える情報量が多い場合は、週間情報に投稿してください。なお、消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載します。
<p>連絡先</p> <p>トップ・セカンド記事：kikakeikaku@fcj.gr.jp 担当 企画課 吉田あてにメールをお願いします。</p> <p>消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp 担当 企画課 吉田あてにメールをお願いします。</p>	

各コーナーとも、投稿いただいてもすぐに掲載できない場合や未掲載となる場合もありますのでご承知おきください。ご投稿、心からお待ちしております。

[目次に戻る](#)

◆ 第108回全国消防長会財政委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和8年4月20日（月）、北海道洞爺町（洞爺湖文化センター）において、第108回全国消防長会財政委員会を開催しました。（開催地事務局：北海道支部 西胆振行政事務組合消防本部）

会議の議題等は、次のとおりです。

【報告事項】

第107回 全国消防長会 財政委員会以後の経過報告

【議題】

- 1 地方債について
公共施設等適正管理推進事業債の措置期限の延長
- 2 国庫補助制度について
 - (1) 緊急消防援助隊設備整備費補助金に係る国庫債務負担行為の柔軟な設定等による運用改善及び所要予算額の確保
 - (2) 消防団設備整備費補助金予算額の増額
- 3 緊急消防援助隊について
無償使用車両の運用見通しの提示及び訓練参加経費に対する財政措置
- 4 地方交付税等の一般財源について
地方交付税等の一般財源総額の確保及び単位費用の的確な算定
- 5 令和9年度 国の予算概算要求に関する要望（案）について

【その他】

次期開催地について



【財政委員会の様子】

消防本部の動き

▽行 事

◆ 宮城県東部消防指令センター開所式を実施

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和8年4月4日（土）、宮城県東部消防指令センター開所式を実施しました。

本センターは、広域連携による消防力の強化を図ることを目的として、令和8年4月1日（水）から、「石巻地区」、「登米市」、「気仙沼・本吉地域」の3消防本部（管轄人口約31万人）による共同指令業務の運用を開始したものです。

式典には管轄する4市2町の首長や関係者約30人が出席し、協定書の披露やテープカットを行ったほか、本センターで勤務する派遣職員の紹介を行いました。

会場では、火災時の119番通報から各消防隊への出動指令に至る一連の流れや、映像通報システムを活用したデモンストレーションを行い、新システムの機能を周知しました。

今後も、3消防本部が連携し、住民の皆さまの安全・安心を確保するため、消防体制の充実に努めてまいります。



【開所式の様子】



【運用を開始した指令センター】

◆ 日勤救急隊の発隊式を挙行

岡崎市消防本部（愛知）

岡崎市消防本部では、令和8年4月14日（火）、中消防署本署において、「日勤救急隊」の発隊式を挙行しました。

この隊は、同署本署1課に毎日勤務の機動救急係を新設し、救急出動需要が高い日中の時間帯における対応力の強化を図ることを目的として発隊したものです。

本運用の開始により、これまでの13隊体制が、日中のピーク時には14隊体制へと拡充され、より迅速な活動が可能となったほか、同隊は当消防本部で初めて採用されたラッピング救急車に乗車し救急出場を行います。

この車両には、毘沙門亀甲文様や岡崎市の花である「藤」のデザインとともに、「病に打ち勝ってほしい」、「やさしさ」、「決して離れない」、「忠実」といった思いが込められています。

今後も、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【発隊式後の記念撮影】

[目次に戻る](#)

◆ 新庁舎の竣工式を挙

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和8年4月15日（水）、小国分署新庁舎において、竣工式を挙

この新庁舎は、迅速かつ的確な消防・救急活動を支える拠点を整備し、地域防災体制のさらなる充実強化を図ることを目的として建設されたものです。

令和7年度から建設を進めてきた新庁舎は、住民の生命、身体および財産を守る極めて重要な基盤となります。

当県内の市町村の中で2番目の広大な面積に加え、厳しい気象条件などを有する小国地域において、拠点の充実が図られたことは、地域防災にとって意義深いものとなりました。

今後も、新庁舎の機能を最大限に活用し、地域住民の信頼に応える防災拠点として、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。



【新庁舎】



【竣工式の様子】

▽ 訓練

◆ 「緊急消防援助隊栃木県南東ブロック後方支援訓練」を実施

石橋地区消防組合消防本部（栃木）

石橋地区消防組合消防本部では、令和8年4月10日（金）、上三川消防署などにおいて、小山市消防本部および芳賀地区広域行政事務組合消防本部と合同で「緊急消防援助隊栃木県南東ブロック後方支援訓練」を実施しました。

この訓練は、広域災害発生時における各消防本部の連携および後方支援体制の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「茨城県で最大震度6弱の地震が発生し、緊急消防援助隊として出動する。」との想定の下、支援車への迅速な資器材積載や車列走行を確認するとともに、現地到着後はデコンタミネーション（汚染除去）エリアの設定を行ったほか、各本部の車両や資器材の相互確認を通じて連携を深めるなど、有意義な訓練となりました。

今後も、3本部の連携を密にし、広域災害時における迅速で円滑な活動体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

▽研 修

◆ 「FOH（フラッシュオーバーハウス）」研修を開催

阿久根地区消防組合消防本部（鹿児島）

阿久根地区消防組合消防本部では、令和8年4月10日（金）、「FOH（フラッシュオーバーハウス）」研修を開催しました。

この研修は、実際の火災現場で発生する「フラッシュオーバー」などの急激な燃焼現象を安全な環境下の中で体験し、火災の成長過程、煙の挙動、消火戦術を実践的に学ぶことで、危険認知力の向上および回避技術の習得を目的として実施したものです。

当日は、訓練用模型家屋を使用して火災性状、煙層、ロールオーバーの動きを確認するとともに、燃料（石油製品と木材）による燃焼温度の違いを検証しました。

また、消火後は火災原因調査における見分の在り方や、近年の住宅構造の変化への対応について理解を深めるなど、有意義な研修となりました。

今後も、さまざま研修を通じて知識の向上を図り、技術の「伝承」に努めてまいります。



【研修の様子】

▽その他

◆ 消防功労者に対し消防長感謝状を贈呈

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部（秋田）

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部では、令和8年4月9日（木）、消防功労者の高校2年生に対し、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年3月24日（火）、湯沢市内で発生した建物火災において、ジョギング中に煙を発見した消防功労者が、火災の近傍で動揺していた居住者の女性を安全な場所へと誘導し、直ちに隣家へ119番通報を依頼するとともに、到着した先着隊へ同女性を確実に引き継ぐなど、迅速かつ的確な行動により被害を最小限に抑えたものです。



【贈呈の様子】



【贈呈後の記念撮影】

◆ 「特別消防救助隊（SRT）」の運用を開始

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和8年4月1日（水）、「特別消防救助隊（SRT：SUPER RESCUE TOYOTA）」の運用を開始しました。

この隊は、消防活動のさらなる充実強化を図ることを目的として、従来から中消防署に配置していた高度救助隊を改編し、業務内容を拡充した上で新設したものです。

同隊は、従来の人命救助活動に加え、困難な条件下での消火活動にも対応する専門的かつ高度な技術を有した最精鋭部隊であり、高度救助資機材を積載した救助工作車をはじめ、消防用ロボットや消火排煙車などの先進装備を配備しています。

今後も、災害対応力の一層の向上を図り、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【特別消防救助隊（SRT）】



【運用車両】

◆ 救急ステーションの運用を開始

京都中部広域消防組合消防本部（京都）

京都中部広域消防組合消防本部では、令和8年4月1日（水）、亀岡消防署西部救急ステーションの運用を開始しました。

本救急ステーションは、廃校となった小学校舎を消防拠点施設として利活用したもので、増隊した日勤救急隊を派遣および待機させることで、救急出動体制の充実を図ることを目的として運用を開始したものです。

これにより、これまで到着に時間を要していた山間部における救急需要への迅速な対応が可能となったほか、管内の救急需要がひっ迫する状況にも対応できる体制を構築しました。

今回の運用開始を含む一連の事業にあたっては、高規格救急自動車および高度救急資機材を整備するとともに、高機能消防指令システムの導入や廃校施設の改修を行い、費用対効果を最大限に生かした新たな消防拠点を整備しました。

今後も、地域に根ざした施設を有効に活用し、住民の皆さまの安全・安心を確保するため、救急体制のさらなる充実に取り組んでまいります。



【増隊した日勤救急隊】



【運用を開始した西部救急ステーション】

◆ 田川地区・中間市消防指令センターの共同運用を開始

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和8年4月1日（水）、中間市消防本部と消防通信指令業務の共同運用を開始しました。

この共同運用は、同業務の効率化および体制強化を図ることを目的として実施したものです。

本運用の周知にあたっては、両消防本部の女性職員を起用した広報ポスターを作成し、各管内の主要施設へ掲示するなど、地域住民への積極的な広報活動を展開しています。

また、新たな機能として、通報段階から現場の状況を把握し、出動隊と情報を共有することで、迅速かつ的確な活動につなげる「映像通報システム」を導入しました。

本取り組みの最大の特徴は、地理的に隣接していない2つの消防本部による広域連携であり、物理的な距離に制約されない住民サービスの向上を実現した、極めて先駆的な体制となっています。



【広報ポスター】



【完成披露式の様子】

◆ 熱中症対策サプリメントを披露

奈良県広域消防組合消防本部（奈良）

奈良県広域消防組合消防本部では、令和8年4月6日（月）、橿原市で開催された「地域で取り組む暑さ対策ディスカッション」において、熱中症対策サプリメントを披露しました。

このサプリメントは、過酷な災害現場における隊員の熱中症対策を図ることを目的として、令和7年6月から地元企業の佐藤薬品工業株式会社と連携し、開発を進めてきたものです。

当日は、現場隊員の意見を反映させ改良を重ねたサプリメントの紹介を行ったほか、新たに導入した吸水速乾性に優れた新活動服についても併せて紹介しました。

今後も、共同開発したサプリメントを活用し、住民の皆さまの安心を守る隊員の体調管理と安全確保に努めてまいります。



【ディスカッション後の記念撮影】



【新たに導入した新活動服（右）】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 消防用設備等の非常電源として用いる自家発電設備の出力算定について（通知）

（消防予第159号、令和8年4月16日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防用設備等の非常電源として用いる自家発電設備の出力算定については、「消防用設備等の非常電源として用いる自家発電設備の出力の算定について（通知）」（昭和63年8月1日付け消防予第100号。以下「100号通知」という。）により運用いただいているところですが、今般100号通知を廃止し、下記のとおり運用することとしましたので通知します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260416_tuuti_159.pdf）に掲載されています。

◆ サウナ施設に係る衛生主管部局と連携した安全対策の徹底について

（消防予第164号、令和8年4月21日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和7年12月15日に発生した東京都港区の個室サウナ火災を踏まえ、「個室サウナの安全確認について」（令和8年1月13日付け消防予第10号）により衛生主管部局等と連携した個室サウナの避難経路等の安全確認をお願いしているところです。

今般、旅館業及び公衆浴場業におけるサウナ施設の安全対策の徹底について、厚生労働省から各都道府県等の衛生主管部局長に対し、別添のとおり通知が行われ、サウナ施設の営業者に対して必要な指導等を行うに当たり、必要に応じて消防関係機関等と連携して対応することとされています。

つきましては、サウナ施設（個室サウナ以外も含む。）について、衛生主管部局と連携し、安全対策に関する情報を共有するとともに、立入検査や指導等を合同で行う等して、緊急時の従業員との連絡・駆けつけ体制が確保されていることやサウナ室の扉を緊急時の開閉に支障を来さない構造とすることなど、利用者の安全確保の徹底を図るようお願いします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/a7ebe9ae2511d3c3a530e19358e08faa174ba7fc.pdf>）に掲載されています。

総務省消防庁予防課企画調整・制度・防災管理係
関、渡邊、延安
TEL:03-5253-7523
Email:fdma-yobouka119@soumu.go.jp

◆ 消防用設備等の設置に係る金融上の措置について（情報提供）

（事務連絡、令和8年4月20日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、各消防本部、非常備町村消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記の件について、「中小企業者等に対する消防用設備等に係る融資制度」に係る令和8年4月1日時点における利率等を別添のとおりお知らせいたしますので、事業者への指導等に当たっての参考として下さい。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2ed5701f1d6a4b88a401c5b17b1148d6b63649e7.pdf>）に掲載されています。

▽報道発表

◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和8年度研究開発課題の募集

（令和8年4月15日、消防庁）

南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大規模地震を想定した災害対応力の強化、風水害等をはじめとする災害の激甚化・頻発化、社会経済活動など消防を取り巻く環境への対応を図っていくため、消防分野において新技術の研究開発・実用化や現場導入を推進していく必要があります。

このことから、消防庁では、外部有識者と消防関係者から構成する「消防技術戦略会議」を開催し、今後、消防庁として重点的に取り組む研究開発のテーマと、その推進に向けた取組の方向性をとりまとめた「消防技術戦略ビジョン」を策定しました。

「消防防災科学技術推進制度」（競争的研究費）については、「消防技術戦略ビジョン」において定める5つの重点分野に関する技術について、継続的に研究開発課題のテーマを掲げ、研究開発課題の公募を行い、重点的な研究開発委託を行うことといたしました。

これを踏まえ、令和8年度に実施する研究開発課題を募集しますので、お知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/7460ea94037e68827f2dfd44e9ca00a2b8942601.pdf>）に掲載されています。

<担当>

消防庁総務課技術戦略室

中嶋・関・鈴木・佐々木

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

▽情報提供

◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催 タイトル「巨大地震や火山噴火に伴う複合災害に備えて」

主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会
後援：全国消防長会

目的：日本は、世界で起きているマグニチュード6以上の地震の約2割を占めると言われる地震多発国です。2011年に起きた東日本大震災をはじめ、まもなく10年目を迎えた2016年の熊本地震、そして2024年の能登半島地震では、多くの犠牲者や建物の被害を出しました。そして日本には、近い将来に発生する可能性が高い巨大地震が存在します。その中でも特に被害が大きいとされている南海トラフ地震、千島海溝・日本海溝の地震、首都直下地震は、30年以内に高い確率で起こると予測されています。また大規模な地震に連動した富士山噴火の発生も危惧されています。さらに火山噴火や巨大地震には必ずCBRNE災害を含めた複合災害が発生します。このように巨大地震に伴う大複合災害は目の前に迫っていると考えられます。テーマを「巨大地震に伴う複合災害に備えて」として、対策準備の必要性を啓蒙していきたいと考えます。

1 実施日

令和8年5月24日（日）10：00～16：45

2 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分）

※ 対面およびWeb（オンデマンド）配信

3 主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、 一般社団法人日本CBRNE学会共同主催

4 対象者：消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、 大学関係者等の専門家に加えて、広く興味ある企業、一般市民を対象

5 申し込み方法：シンポジウムに参加を希望される方はリンク先に必要事項をご記入いただき 登録してください。またはお問い合わせ先にご連絡ください。

6 参加費（事前登録をされた消防庁関係者は会員料金といたします）

会員5,000円、非会員6,000円（会場参加、当日の昼食、お茶、お菓子代を含む。）

会員5,000円、非会員6,000円（オンデマンド参加）

7 プログラム（発表構成）

午前の部（10：00～11：55）※ 会場受付9：30～

(1) 開会挨拶：石井正三（日本CBRNE学会理事長）（10：00～10：10）

(2) 講演1（10：15～11：00）

伊藤克己（NBCR対策推進機構副理事長、元東京消防庁防災部長）
「消防から見た国民保護法と避難誘導すべき場所」

(3) 講演2（11：05～11：50）

吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）
「富士山噴火の被害と対策」

昼休み（11：50～13：20）

（昼食および日本CBRNE学会総会（含評議員会））

午後の部（13：20～16：45）

(4) 講演3（13：20～14：05）

山崎達枝（東京医科大学看護学科准教授）
「災害看護医療」

(5) 講演4（14：10～14：55）

合田克彰（元総務省消防庁国際協力官）
「消防庁の大地震複合災害における救護活動」

(6) 講演5（15：00～15：45）

阿部暁樹（福島県立医科大学放射線医学健康管理センター）
「福島原発事故による間接的健康被害」

[目次に戻る](#)

- (7) パネルディスカッション (15:50～16:40)
- (8) 閉会挨拶 (16:40～16:45)
石原雅之 (NBCR対策推進機構理事長)

日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共催講演会 講演会に参加される方は下記リンクからお申込みいただくか、FAXまたはメールにてお申込みくださいませ。

【お申込みリンク】

<https://nbce-cbrne202620260240524.peatix.com/view>

※ FAXまたはメールにてお申込みの方は、事前のお振込みをいただく口座番号をお知らせいたします。

【関連イベントのご案内】

「複合災害フォーラム2026 in 福島浜通り」開催のお知らせ

本シンポジウムに加え、夏季には福島にてフォーラムおよび特別視察を開催いたします。

- 開催日：令和8年8月23日（日）
- 特別企画（翌日開催）：福島第一原子力発電所 特別視察

本企画は、被災地の現状を直接確認し、複合災害への知見を深めるための人数限定プログラムです。参加をご希望の方、または詳細資料をお求めの方は、事務局までメールにてお問い合わせください。お早めのご連絡をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

HP：<https://nbc-taisaku.com>

事務局：NBCR 対策推進機構

東京都港区赤坂4-9-25 新東洋赤坂ビル3階

担当：岡部・遠藤・石原

TEL:03-5829-6187 FAX:03-5829-6197

E-mail:info@nbc-taisaku.com

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

【消防本部コード 95108】 うるま市消防本部

- 1 所在地
〒904-2224
沖縄県うるま市字大田77番地
- 2 移転先での業務開始日
令和8年4月27日（月）
- 3 連絡先
組織体制および電話番号に変更はありません。

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Wordで200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章：Word100字程度／写真：JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：kikakeikaku@fcj.gr.jp 消防ワイド：honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設いたします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報等を素早くお届けします。
登録していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。

フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

